

京都
祇園

弥栄会館ギオンコーナー

舞妓さんの舞を 近くで！

日本の誇る

7つの伝統芸能を鑑賞

狂言

京舞

華道

雅楽

琴

茶道

文楽

大切に伝承されてきた
伝統芸能の世界を
ごゆっくりお楽しみ下さい。



お問い合わせ

公益財団法人 京都伝統伎芸振興財団 (おおきに財団)

TEL.075-561-1119 FAX 075-561-3860

〒605-0074 京都市東山区四条花見小路下ル 弥栄会館内 <http://www.kyoto-gioncorner.com/>



京舞

京都を中心とした関西地方に発生し、能楽の系統をひくため比較的省略された動きの中で豊かな表現をしており、座敷舞といわれています。品格の高い宮廷風の舞いぶりを取り入れ、1,000年間の王城の地である京都の自然と風物に溶け合い、優雅で美しい京都の代表的な芸術となりました。毎年春に開催される「都をどり」もこの京舞を基調としたもので、祇園の芸妓、舞妓によって演じられる京舞は、その衣装の美しさと相まって、優雅かつ絢爛そのもので、人々の心をとらえています。



華道

華道は仏前にお花を供えたことが始まりですが、室町時代に池坊専応がいけ花を成立しました。その後、茶の湯の普及とともに発達し、また一般家庭でも生け花で部屋を飾る習慣ができました。



茶道

中国において8世紀頃に始まり、わが国には平安時代から鎌倉時代にかけて禅僧によってもたらされました。茶の湯は、千利休が「和敬静寂」を理想とする茶の湯を完成し、今日の茶道の基盤を作り上げました。江戸時代に入り、日本人の生活と文化に深い影響を与えて今日に至りました。椅子に座った作法である裏千家による立札をご覧ください。



狂言

能楽の合間にその時代の日常の言葉で演じられる一種の喜劇であり、室町時代に足利家の庇護の下で栄えました。その後、武士の教養のひとつと考えられ江戸時代には武家の式楽として定着しました。狂言は当時の現実の社会を生々とコミカルに表現するのを特徴としています。大蔵流狂言茂山社中による代表的な演目の「棒縛り」をご覧ください。



雅楽

6、7世紀に中国大陸や朝鮮半島より伝えられ日本では平安時代王朝文化の中で最盛期を迎えました。世界最古の音楽の一つで皇室や社寺の行事を通じて今日まで伝えられています。雅楽には舞を伴う舞楽が数多くあり、ここでは舞楽「蘭陵王」をご覧ください。